



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 143

平成27年(2015)
8月10日

主な内容

6月定例会のあらまし	2
一般質問	2
討論の内容	7
意見交換会の実施	9
議長交際費の支出内容	9
政務活動費の支出内容	10
議案の採決結果	10
常任委員会の審査報告	12
9月定例会予定	12

●加佐公民館に緊急時電力確保設備(太陽光パネルなど)を整備する
事業費など2903万円の平成27年度一般会計補正予算を可決

真夏の夜空を焦がす 色とりどりの華



7月26日 みなと舞鶴ちゃったまつり花火大会から

6月定例会のあらまし

●舞鶴市個人情報保護条例や舞鶴市農業公園条例の一部改正を可決

舞鶴市個人情報保護条例の改正は、マイナンバー制度導入に向けて、12桁の個人番号と従来の個人情報を結びつけた特定個人情報などに係る目的外利用の禁止などを追加するもので、舞鶴市農業公園条例の改正は、滞在型市民農園(字瀬崎のふるるファーム内)を7日以内の単位で利用できることとするもの

◎舞鶴市議会は、6月定例会を6月2日から29日までの28日間開催しました。市長提案の平成27年度一般会計補正予算、条例、人事など15議案を審議した結果、いずれも原案のとおり可決、承認、同意としました。また、議会運営委員会提案の舞鶴市議会会議規則の一部改正(出産のための欠席手続など)を可決しました。(採決結果は10・11分)

平成27年 舞鶴市議会6月定例会一般質問

平成27年6月12日、15日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一問一答	松田 弘幸	1 環境対策について 2 災害対策について 3 一次産業の活性化について
2	一括	福村 暉史	1 地域防災力の向上について 2 地方創生について 3 市役所組織の運営について 4 小中一貫教育について
3	一括	尾関 善之	1 民間によるコミュニティFM局開局について 2 西地区の治水対策について 3 商店街振興策について 4 空き家対策について
4	一括	松岡 茂長	1 「舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について 2 農地中間管理機構について 3 自転車の安全対策について
5	一問一答	伊田 悦子	1 戦争法案に反対することについて 2 子育て支援について 3 労働者を守り地域経済を活性化させることについて
6	2分割	鯛 慶一	1 舞鶴市の活性化について 2 廃校校舎の利用について 3 児童生徒の身分証明について 4 公共施設利用料について 5 除雪について
7	一括	杉島 久敏	1 聴覚障害について 2 B型肝炎について 3 改正道路交通法について
8	一括	今西 克己	1 マイナンバー制度について
9	一括	谷川 眞司	1 地場産品の普及について 2 子育て交流施設について 3 引揚記念館資料のユネスコ登録に係る取り組みについて
10	一問一答	小杉 悦子	1 原発のない社会を目指すことについて 2 医療保険制度改革関連法について 3 安全な避難所・避難道路について
11	一括	水嶋 一明	1 京都縦貫自動車道の全線開通について 2 歴史・文化都市創造への取り組みについて 3 水害対策について
12	一括	小谷 繁雄	1 市民からの情報活用について 2 インフルエンザ予防接種について 3 図書館の活用について
13	一括	伊藤 清美	1 舞鶴医療センターの免震ゴムの不正問題について 2 小中一貫教育について
14	2分割	石束 悦子	1 医療問題について 2 小学校、中学校の給食について 3 少人数学級について
15	一括	西村 正之	1 赤れんがパークに係るまちづくり基本構想について 2 防衛省の補助金について 3 生活保護について 4 一般廃棄物最終処分場について
16	一問一答	肝付 隆治	1 地方創生政策に対応した庁内の組織体制について 2 舞鶴市のまちづくり全体のランドデザインについて 3 まちづくり戦略の推進について 4 広域連携について
17	一問一答	後野 和史	1 安倍政権の地方創生と舞鶴市まち・ひと・しごと創生総合戦略について 2 教育について
18	一括	高橋 秀策	1 環境都市創造への取り組みについて 2 総合教育会議について 3 まち・ひと・しごと創生総合戦略について 4 自衛隊との連携強化について

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※一問一答…全ての質問項目を一括して質問するのではなく、一問ごとに質問し、その都度、答弁を求める質問の方式

※一括…全ての質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※分割…全ての質問項目を分割し、分割した区分ごとに一括して質問し、その区分ごとに一括して答弁を求める質問の方式

平成27年6月12日、15日本会議を開き、18人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

災害時に市民を守る



公明党議員団
松田 弘幸

質問 大震災時の火災は、電気に起因する割合が高い。地震ブレイカーを普及させ、初期消火を徹底すれば、火災の死者数が9割以上減る。設置補助や周知をする考えはないのか。また、視覚に障害を持った方々が災害時に避難する場合、人混

みの中で、他の人につかたたり突き飛ばされたりする危険がある。支援を受けやすくする視覚障害者用ベスト配布の考えはないのか。
答弁 各家庭で設置していただきたい。火災予防の啓発はしっかりと取り組む。また、ベスト配布は災害時要

援護者個別支援計画を通じ総合的に検討する。
一次産業の力で舞鶴の発展

質問 漁業近代化資金の利子補給制度の拡充は、漁業者が近代化資金を利用し、施設更新、高度化を図るには、重要かつ効果的な施策と考えるが市の考えは。

答弁 沿海3市町および本市の他の利子補給制度との均衡を勘案し、実施する。

コミュニティFM局開局



創政クラブ議員団
尾関 善之

質問 現在有本積善社が主体となり取り組まれている舞鶴経済の活性化、まちづくり、文化歴史教育、防災放送などに貢献するコミュニティFM局開局に向け、行政としてどのように関わり支援していくのかを問う。
答弁 地方創生総合

戦略において、民間によるコミュニティFM局開局開設支援を盛り込んでおり、必要な後方支援を行う。開局後は、市政情報の発信手段の一つとして活用できるものと考えている。
西地区の治水対策
質問 京都府におい

て高野川河川整備計画検討委員会が開催され、改修から60年が経過し老朽化が進み、今の断面では10年に一度の雨でも安全に流せず、高潮と同時期に起こると被害が拡大する現状と課題が示されたが、安全・安心の根幹となる整備について問う。
答弁 次回の検討委員会では河川整備の実施内容など、検討が行われると伺っている。

地域防災力の向上



新政クラブ議員団
福村 暉史

質問 昨年の広島での土砂災害や福知山市の災害など、昨今、全国にも頻繁に大規模な災害が発生している。本市においても平成25年の台風18号、平成26年8月豪雨と2年連続で加佐地区を中心に大きな被害を受けている。市民の命を守る責務

がある市の防災に対する危機管理対応の向上はもちろんのこと、さまざまな災害事象に対応できるよう、国・府との連携強化を図るとともに、地域全体の防災機能の総合力を高める必要性があると考えますが、市の考えを問う。
答弁 近年の災害は、

大規模かつ多様化しており、国・京都府・市町村がそれぞれの立場で対応するとともに、しっかりと連携して災害対応することが大変重要であると考えている。本市においては、一昨年の台風18号、昨年の8月豪雨により大きな被害を受けている。市民が安心して暮らせる環境づくりに努める。

地方創生には地域バランスを



鶴翔会議員団
松岡 茂長

質問 「舞鶴版地方創生」が策定され、コンパクトシティの施策も示された。中心市街地に目が向きがちだが、農山村には自然と共生する生活があり、おだやかなコミュニティがある。どんな小さな集落でもこれを見捨ててはいけない。農

山村の暮らしの価値を大切にする施策も考えるべきだ。見解を問う。
答弁 農山村などでは歴史・文化の保存、集落コミュニティの維持が大切だと考える。地区計画制度を活用して支援していきたい。
農業に建設業の力も

質問 「農地中間管理機構」が低調だ。農業法人化を促進する中で、地域の建設会社は、技術や経営力を生かし農業を事業化する「建設帰農」について、もっと可能性を探っていかないと考えはないか。
答弁 地元建設業者などが農業に参入することは、新たな担い手確保につながる。情報提供を行うことで参入を促進していきたい。

平成27年6月12日、15日本会議を開き、18人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

舞鶴港を出撃の港に
させない決意を



日本共産党議員団
伊田悦子

質問 国会で審議中の「平和安全法制」の中身は戦争する国づくりそのもの①自衛隊が、地理的制限もなく米軍のあらゆる戦争に参加。殺し殺される事態に。市民から戦死者を出す危険が。この流れに危惧をもたないのか②戦争する国づくりで港が

出撃基地に。それは、本市が目指す貿易港としての発展とは相いれない。いかがか。

答弁 ①国会の場で議論されるべきもの。審議経過注視②今後も平和産業港湾都市の市是を踏まえまちづくりを進める。
障害児の保育所通所支援を

交流人口拡大に向けた
閉校校舎の活用を



無会派
亀山 健二

質問 平成25年9月定例会の質問に対する答弁で、市として活用できる施設はいつまでも遊休施設とせず、地域活性化や市全体の振興に役立つよう検討することのことであったが、それから2年が経った今現在の取り組みを問う。また、地元の意見

として、今夏行われるインターハイレスリング競技などの合宿所が開設できないかと伺っている。特に岡田地区の閉校施設は舞鶴大江インターからも近く利用可能と考えるが、市の見解を問う。
答弁 公共施設再生実施計画で対象として

質問

うみべのもり保育所では、障害があるがゆえに、送迎の段階で困難を抱えているケースがある。保育のスタートラインに立つまでの支援は行政が当然すべき。いかがか。

答弁 公立保育所は社会的サポートが必要な児童の保育などを担っている。公共交通機関の運行などについて今後検討していく。

新生児聴覚検査導入と
助成制度を



公明党議員団
杉島久敏

質問 適切な治療・療育が必要なため新生児に対する聴覚スクリーニング検査の早期導入を目指すとともに、人工内耳装用者に対する負担軽減のため助成制度導入を訴える。

答弁 聴覚障害の早期発見・早期支援は重要と捉え、新生児が検査を受けるよう啓発努力する。また、人工内耳については技術革新の著しい分野であることから、保険適用との関係を見定め今後の方向性を考えていく。
改正道交法の周知と教育を

質問 自転車運転事故の増加に伴う新制度導入の周知方法について問う。また、小・中学生における自転車運転マナーの向上に対する交通安全教育は、どう進めているのか。

答弁 制度周知にはホームページのほかチラシ、ポスターの配布で対応している。小・中学生に対する運転マナー教育は、運転免許教室・交通安全教室の実施により積極的に取り組む考えである。

マイナンバー制度に
思う



新政クラブ議員団
今西 克己

質問 マイナンバー制度は、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会の実現を目指すものであり、将来国の在り方に関わる重要な社会基盤になるものである。そこで、来年1月から制度の利用が始まるが、その利用の範囲と本市

独自の利用を考えているのか、また、先日の日本年金機構へのサイバー攻撃により、年金情報が大量に流出するという事態が発生しているが、本市の個人情報管理とそのセキュリティ対策について問う。
答弁 現在国において、各分野への利用範囲を拡充することで審議されているところであり、本市としては市内の関係部署が連携して必要な準備を進めている。セキュリティ対策については、次世代型ファイアウォールの導入の検討やネットワークの見直しなどで徹底した個人情報の管理保護に取り組む。

「地場産品」の 条例制定を



創政クラブ議員団
谷川 眞司

質問 地場産品、舞鶴かまぼこなどでもてなす条例制定について問う。

答弁 条例の制定については、消費者である市民の理解や気運の盛り上がり、生産者の意欲などが必要であることから、状況を充分見守っていききたい。

子育て交流施設の運営方法

質問 子育て交流施設の現在までの利用状況及び今後の施設運営について問う。

答弁 4月25日のオープン以来、一日平均250人の利用状況となっている。20人以上の団体の場合、事前に

「遊び」の内容について、一緒に検討をしている。施設運営については「あそび隊」に加え、保育・子育て関係団体に幅広く参加・参画いただく取り組みを推進し、より多くの皆さまにご利用いただける施設づくりに努める。



舞鶴市子育て交流施設

縦貫道全線開通による 効果と取り組みは



無会派
水嶋 一明

質問 高速道路ネットワーク完成による本市産業に及ぼす効果と今後の取り組みを問う。

答弁 高速道路網の全線開通は、ビジネス規模・商圏の拡大、周遊観光ルートの開発、京都舞鶴港のクルーズ船寄港や今年度計画の国際フェリーの就航な

どによって、新たな人流と物流が期待できる。これを機に、より一層交流人口の拡大、定住人口の維持に努めたい。

河川増水時の防災対策は

質問 高野川、伊佐津川など、川床が周辺の土地より高い天井川が台風など豪雨時に決

壊すると、大きな被害の発生が懸念される。避難判断水位が設定されている河川はどこか。避難勧告・指示はどのように行うのか。

ICTを活用し土木 関連の情報効率化を



公明党議員団
小谷 繁雄

質問 スマートフォンのにより、道路の危険箇所などの情報をメールで土木課に投稿、土木課で処理・解決し、発信者へ返信するなど、ICT(情報通信技術)を活用し、市民と協働で行う公共施設の維持管理システムについて市の見解を聞く。

答弁 土木施設の損傷については、全ての情報を現場におもむき状況を確認し、早期に対応しながら、さらなる市民サービスの向上のため、スマートフォンの利用したICTの活用など、多様な手段について検討していく。

質問 子育て負担の軽減と、予防接種を受けやすい環境に整備することで、インフルエンザの発病、重症化と蔓延を防ぐ目的で、小中学生のインフルエンザ予防接種の助成制度導入について、市の見解を聞く。

答弁 市独自の事業となる。今後、国の予防接種制度の動向を十分に見据えていきたい。

要支援者が安全に 避難できる計画策定を



日本共産党議員団
小杉 悦子

質問 原子力災害時に、京都府が避難計画策定を求めている福祉施設は入所施設だが、通所施設においても避難計画が必要と考えるが、市の見解を問う。

答弁 通所施設についても、帰宅できない場合も想定されることから、今後京都府や関

子どもを放射能から守る

質問 福島県健康調査で、小児甲状腺がんやその疑いが126人と報告されている。一般的に100万人に1人とされていることから、驚異的な割合

での発症となっている。松尾・杉山以外の地域にも安定ヨウ素剤の事前配布、服用が必要と考えるがいかがか。

答弁 安定ヨウ素剤は市民8万9千人分と5千5百人分の予備備蓄、乳幼児用の粉末剤500gを市の保健センターに保管している。事前配布・服用には課題が多く、京都府と具体的な方法について調整しているところだ。

子どもの予防接種の助成を

平成27年6月12日、15日本会議を開き、18人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

医療センター免震ゴムの影響はいかに



創政クラブ議員団
伊藤 清美

質問 本年3月、東洋ゴムの免震ゴム不正問題が発覚、新病棟は災害拠点の核となる施設であり、医療に与える影響を問う。

答弁 医療センターと東洋ゴムの間で取換工事を含めた工程の再調整を進めている。現

有施設でしっかりと医療を進めており、地域医療への影響は少ないものと認識している。また、公的病院間の画像データなどの連携ネットワークシステムにおいても影響は少ない。

質問 小中一貫教育の導入に向けて先進地の取り組みでの成果をどう反映させるのか問う。

答弁 先進地では中学生の不登校出現率の減少、学力の向上などの成果や、教職員の児童生徒への理解、指導方法の改善に向けた意欲の高まりが見られる。これらの成果を踏まえ教育課題解決の手法の一つとして、保護者や地域の皆さまのご理解を得ながら導入に向けた取り組みを進めたい。

防衛省の補助金は貴重な財源



無党派
西村 正之

質問 舞鶴市は、自衛隊舞鶴基地を抜きにしては考えられない歴史と現状であることは、市民の皆さまが周知されているところである。毎年防衛省から交付を受けている補助金は、本市と自衛隊舞鶴基地との共存共栄、また、地域経済の活性化など

を図る上で貴重な財源となっている。そこで、過去5年間の防衛省の補助金の推移と対象となった主な事業について問う。

答弁 過去5年間の防衛省の補助金の推移と対象となった主な事業は、平成22年度は5億5千124万円、平

成23年度は6億1千945万円、平成24年度は2億2千196万円、平成25年度は2億4千27万円、平成26年度は5億174万円であり、主に上水道施設、し尿処理施設、文化公園体育館の整備・改修や消防ポンプ自動車の購入などの事業を実施している。

土曜午後、夜間含む地域医療の充実を



日本共産党議員団
石束 悦子

質問 土曜の午後や夜間、けがや発熱で病院へかかりたくても断られたり、救急車で رفتっても叱られ大変だ。

癌の手術やリハビリで綾部や福知山など紹介され本人も家族も困る①救急体制の充実を②休日急病診療所の準備状況③医師確保の見通

し、それぞれいかがか。

答弁 ①数多い救急対応の中には患者さんやご家族の思いと医師の判断が異なる場合もある。現在公的三病院により、しっかり救急体制を担っている②建物6月末完成予定。開設日程が明確になり次第知らせる③公的

病院が京都府立医科大学の関連病院となり若手医師が北部地域へ配置され、舞鶴全体として医師確保が進む。

質問 舞鶴市の将来構想を市民の皆様様に理解していただき、まちづくりを効率よく着実に進めていくためには、赤れんがパーク一帯の交流拠点整備構想、旧市民病院跡地の整備構想など、どこにいつ頃

どのものができるとか、人の流れがどう変わるのかをイメージできるとなるとまちづくりを進

まちづくり全体の都市整備計画を問う



創政クラブ議員団
肝付 隆治

質問 切実な要望である透析施設の設定予定などはいかがか。

答弁 JR西駅前の国道沿いの空き地を確保されており、概要などが固まった段階で法人とも調整し報告する。

めるためには、目標とするイメージの共有は大変重要であり、今後のまちづくりの推進に当たってはプロジェクトマップを作成するなどして、政策目標と各施策が一体的なものとしてより分かりやすくイメージできるような情報発信に努め取り組んで行く。

英知を集め雇用の安定 子育て環境整備を



日本共産党議員団
後野 和史

質問 地方創生総合戦略で、どうすれば人口減少を抑制できるのか、市民の英知を集めるべきではないか。安定した雇用、地域経済の活性化、暮らし、福祉、教育を中心に子育てしやすい環境を作ることが求められるのではないか。

質問 総合戦略の推進による交流人口の拡大、定住人口の減少抑制、経済人口10万人の実現に向け、市民参画と産官学金労などの連携で取り組む。市もそのように考えている。

答弁 総合戦略の推進による交流人口の拡大、定住人口の減少抑制、経済人口10万人の実現に向け、市民参画と産官学金労などの連携で取り組む。市もそのように考えている。

質問 医療・施設などは広域化か

域連携都市圏形成推進宣言では「北部を一つの生活圈」とするが、脳疾患は舞鶴医療センター、呼吸器疾患は綾部市立病院で、体育館や会館などは圏域全体で利用、必要以上には建て替えないということか。

答弁 医療に限らず公共施設・サービスなど住民生活に必要な機能は連携・協力で役割分担と機能強化を図る。

学力日本一を 目指そう



創政クラブ議員団
高橋 秀策

質問 総合教育会議と教育委員会との関係やその役割、また、市長が総合教育会議を通して大綱を策定されるが、その内容や時期についてお尋ねする。

答弁 教育委員会は、総合教育会議などを通して市長と連携を強化し、教育のさらなる振

興を図る。また、次期を担う人材の育成に向け、0歳から15歳までの切れ目のない教育環境の充実を重点的に盛り込んだ大綱を、夏頃を目途に策定する。

防災機能の強化を

質問 自衛隊との連携による防災機能の強

化に向け、北吸埋立地を防災拠点として活用できるように、国に対して働きかけるべきではないか。

答弁 「まちづくり構想」を策定する中で、国に対して基地集約促進などを働きかけるとともに、地域防災機能の充実・強化に向け、北吸埋立地の防災拠点などとしての利用も検討いただけるよう要望を行っていく。

議会を傍聴してみませんか

議会は誰でも傍聴することができます。

お問い合わせは 市議会事務局へ ☎66-1060



討

徴税強化と給付抑制 狙うマイナンバー制



日本共産党議員団
後野 和史

14議案のうち11議案に賛成、3議案に反対する。

市税条例、個人情報保護条例、情報公開・個人情報保護審議会条例の一部改正は、マイナンバー法によるものであり、国民に12桁の番号を割り当て、生活や収入など行政サービスの迅速化の目的で導入され、当初は社会保障制度、税制、災害対策に使われる。

10月からマイナンバーの通知が届き、申請して個人番号カードが

論

交付、来月1月から開始される。年金機構に見られる個人情報流出の恐れ、中小零細企業での情報管理の負担増、徴税と社会保障給付抑制のチエック体制強化の政府の狙いがあることから反対する。

下水道が地方公営法適用に

下水道事業会計補正予算案は、地方公営企業法適用に向けた予算で、法適用のデメリットはない。国補助金は変わらず、政策的支援の一般会計からの繰り入れは継続、使用料値上げにリンクさせないなどの答弁があったことから賛成する。

6月29日の最終本会議において、市長提案の議案に対して各党派が討論をしました。

観光都市の実現は、おもてなしの心から



新政クラブ議員団
上野 修身

6月定例会に上程された全議案に賛成する。第59号議案のうち、赤れんがパーク整備事業について、引揚記念館の改修に伴い、赤れんがパークで引揚記念館特別展示を開催しているが、バスでの来場者が大幅に増えている。ユネスコ世界記憶遺産登録が決定すれば一層の増加が予想されることから、7月から10月上旬まで仮設トイレを設置するもので、来場者の利便性を考えると早急にお願したい。また、設置期間終了後も、状況によっては常設も必要ではない



安定的な下水道サービスを

か。

第60号議案、平成27年度舞鶴市下水道事業会計補正予算(第1号)については、下水道サービスを安定的に供給するため、地方公営企業法を適用し、持続可能な経営確立を目指すもので、資産台帳の整備、資産管理システムの導入、企業会計への移行作業を、3カ年で6千万円を限度額とする債務負担行為を設定し行われる。下水道は日々の市民生活に欠く事ができない。今後とも安定供給を願う。

人に焦点をあて心豊かに暮らせるまちに



公明党議員団
小谷 繁 雄

赤れんがパーク駐車場の仮設トイレ設置は、ユネスコ世界記憶遺産に登録決定後、来場者の増加に向けた対応で、7月から10月上旬と限定している。舞鶴の観光地の中心であるこの地は、今後観光客の増加が予想でき、常設トイレの設置は必然である。加佐公民館に太陽光パネルと充電式バッテリーによる緊急時の電力確保設備は、環境への配慮と災害に強い地域づくりとして南公民館にも設置を要望する。



赤れんがパーク駐車場

業会計は、経営の時代への転換期であり、サービスの向上と安定的な供給に経営基盤の確立を。

マイナンバーは、低所得者に対する社会保障の充実や行政事務の効率化と手続きの簡素化による社会保障サービスの必要な人に的確に受けられる。行政は個人情報収集・保管のセキュリティについて、十分な対応を。舞鶴市が開設した市民農園の短期滞在型の利用が進み、創意工夫で収益の増加を期待し、全議案に賛成する。

小規模組織団体にもきめ細やかな支援を



鶴翔会議員団
亀井 敏 郎

6月定例会に上程された全議案に賛成し討論する。国や京都府が進める農地の大規模な集積や集約化については、貸し手と借り手のマッチングが低調であると感じている。その要因はさまざま考えられるが、舞鶴市のように小規模兼業農家が大半で、中山間地域での耕作が多い地域では大きな課題がある。現に法人格を取得しての営農組織が4法人と非常に少なく、一方では地域集落内において農地保全の観点から、少人数での営農組織、団体が多いのが現状である。また、農

業従事者の高齢化や有害鳥獣被害による生産意欲の低下が懸念され、耕作放棄地の増大が心配されるところである。今後、舞鶴市においては、農地の大規模な集積、集約化事業に加え、農業組織の法人化、マッチング事業の促進に尽力されることと併せて、各地域、集落の小規模な組織団体にもしっかりと目を向けて本市農業の振興・発展に努めていただくよう強く要望する。



高齢化する農業従事者

6月定例会に上程された全議案に賛成する。下水道事業は、下水道の役割が公共水域保全のウエートが非常に高く、建設推進時には「独立採算」になじみにくいとされてきた経過があるが、下水道の普及が進み今後は施設の老朽化対策を含め、その維持管理が主体となってくる。経営環境の厳しさが増すことが予想されることから、公営企業法の適用は自然の流れと考えられ、経営状況や財政状況について他団体との比較が可能となり、コスト意識の向上にもつな

下水道事業の健全運営を

創政クラブ議員団
林 三弘



舞鶴市東浄化センター

がることから、円滑な実施を要望する。また、赤れんがパークのトイレ整備は、訪れていただいた観光客の皆様の良い印象を持つていただくためにも、実施に当たりさらなる検討をお願いする。マイナンバー制に関する条例は、利便性・公平公正の面からは有効であるが、最近情報漏れの問題が社会問題化しているのが現実であり、その取り扱いには十二分に慎重を期していただきたい。

意見交換会を実施します

「意見交換会」は、市民の皆さまとさまざまな分野の情報や課題を共有することにより、舞鶴市議会および議員の政策提案機能の強化・拡大を図るとともに、議会活動を広報する機会とすることを目的に実施します。

舞鶴市議会の各常任委員会の委員を構成メンバーとする班に分かれ、テーマを設定して、市内で組織的に活動されている団体と意見を交換します。



実施時期 平成 27 年 10 月に実施予定

各班およびテーマ

班名	人数	テーマ
総務文教班	7人	中学校生活に思うこと
経済消防班	7人	有害鳥獣について
民生環境班	6人	介護保険制度と介護人材の確保について
建設班	7人	空き家対策について

平成 26 年度 議長交際費の支出内容をお知らせします

詳細は舞鶴市議会のホームページに掲載していますのでご覧ください。

ホームページ：<http://www.city.maizuru.kyoto.jp/shigikai/>

単位（上段：件、下段：円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	10	8	5	4	3	2	4	3	3	4	0	5	51
金額	63,100	56,880	31,800	34,800	22,800	6,000	28,000	19,800	16,000	22,200	0	38,800	340,180

会費	3	1	3	2	1	0	2	1	3	4	0	1	21
	14,000	3,000	16,000	20,000	5,000	0	15,000	4,000	16,000	22,200	0	8,000	123,200
祝儀	1	4	1	0	0	2	1	0	0	0	0	2	11
	10,000	18,000	5,000	0	0	6,000	10,000	0	0	0	0	15,000	64,000
甲慰	1	0	1	1	2	0	0	2	0	0	0	2	9
	5,000	0	10,800	10,800	17,800	0	0	15,800	0	0	0	15,800	76,000
その他	5	3		1	0	0	1	0	0	0	0	0	10
	34,100	35,880		4,000	0	0	3,000	0	0	0	0	0	76,980

6月29日の最終本会議での議案採決の結果は、次のとおりです。
この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。
この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。

(平成 27 年 6 月定例会)

会期：6月2日～6月29日

全会一致で可決・承認した条例議案

- ・専決処分の承認を求めることについて（舞鶴市市税条例等の一部を改正する条例制定）
- ・専決処分の承認を求めることについて（舞鶴市保育所条例の一部を改正する条例制定）
- ・専決処分の承認を求めることについて（舞鶴市介護保険条例の一部を改正する条例制定）
- ・舞鶴市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・舞鶴市農業公園条例の一部を改正する条例制定について
- ・舞鶴市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、認可…認定及び可決、採…採択、不…不採択、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

林三弘	山本治兵衛	今西克己	上野修身	岸田圭一郎	福村暉史	眞下隆史	和佐谷寛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	後野和史	井上孝空	亀井敏郎	松岡茂長	鯛慶一	西村正之	水嶋一明	議決をした日
創政	創政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	鶴翔	鶴翔	鶴翔	無派	無派	無派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	6月29日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	6月29日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	6月29日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	6月29日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	6月29日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	6月29日

無会派…会派に所属しない議員 ☆舞鶴市議会の議員定数は 28 人です。

【各会派政務活動費 収支報告書一覧表 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 4 日分)】

(単位：円)

会派名	収入		支出					支出合計	差引不用額
	政務活動費	自己負担分	調査研究費	研修・会議費	広報・広聴費	資料作成・購入費	事務諸費		
創政クラブ議員団※	1,665,769	0	1,025,130	0	0	10,368	183,973	1,219,471	446,298
主な支出の内容：視察旅費（宮古市、南三陸町、石巻市）など									
市民フォーラム議員団	682,836	70,583	186,692	0	497,512	9,000	60,215	753,419	0
主な支出の内容：視察旅費（尾道市、久万高原町）、会派広報費（印刷、折込料）など									
公明党議員団	512,127	0	227,979	0	0	4,181	278,923	511,083	1,044
主な支出の内容：視察旅費（米沢市、天童市、一関市）など									
鶴声クラブ	512,127	0	355,340	0	0	10,368	83,922	449,630	62,497
主な支出の内容：視察旅費（函館市、小樽市、石狩市、恵庭市）など									
日本共産党議員団	512,127	72,843	0	0	429,634	96,618	58,818	585,070	0
主な支出の内容：会派広報費（印刷、折込料）など									
輝進クラブ議員団	512,127	0	283,296	0	0	0	67,627	350,923	161,204
主な支出の内容：視察旅費（函館市、室蘭市、江別市）など									
会派に所属しない議員	170,709	0	0	0	0	0	33,238	33,238	137,471
主な支出の内容：コピー代、通信料など									
会派に所属しない議員※	41,321	0	0	0	0	0	0	0	41,321
支出なし									

※平成 26 年 10 月 6 日付で、創政クラブ議員団から 1 議員が脱退したことにより、同議員団の政務活動費は 10 月 6 日から 12 月 4 日までの 1 人分を減額し、その減額分は会派に所属しない議員として支給

議案の採決結果

全会一致で可決・承認した予算議案

- ・専決処分の承認を求めることについて（平成 26 年度舞鶴市一般会計補正予算（第 8 号））
- ・専決処分の承認を求めることについて（平成 26 年度舞鶴市簡易水道事業会計補正予算（第 3 号））
- ・平成 27 年度舞鶴市一般会計補正予算（第 1 号）
- ・平成 27 年度舞鶴市下水道事業会計補正予算（第 1 号）

全会一致で可決・同意したその他の議案

- ・工事請負契約の変更について（舞鶴市環境衛生プラント建設工事）
- ・人権擁護委員候補者の推薦について
- ・舞鶴市議会会議規則の一部を改正する規則

賛否が分かれた議案

議員名簿等（会派内は五十音順）		出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	伊藤清美	尾関善之	肝付隆治	桐野正明	高橋秀策	谷川眞司
								創政	創政	創政	創政	創政	創政
市長提出議案	舞鶴市市税条例の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	舞鶴市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
	舞鶴市情報公開・個人情報保護審議会条例の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○
その他	安全保障法制の慎重審議を求める意見書(案)	28	27	7	20	0	否	×	×	×		×	×
	軍用機オスプレイの配備中止及び政府の購入計画の撤回を求める意見書(案)	28	27	4	23	0	否	×	×	×		×	×
	共通番号(マイナンバー)制度の中止を求める意見書(案)	28	27	4	23	0	否	×	×	×		×	×
	労働者派遣法・労働基準法「改正」法案の撤回を求める意見書(案)	28	27	4	23	0	否	×	×	×		×	×
	地域経済の再生めざし、最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援強化を国に求める意見書(案)	28	27	4	23	0	否	×	×	×		×	×

議長は採決に加わりません

創政…創政クラブ議員団、新政…新政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、鶴翔…鶴翔会議員団、

平成 26 年度の政務活動費の支出内容をお知らせします

政務活動費は、議員の調査研究に資するための必要な経費の一部として、議員 1 人当たり年額 26 万円を議会会派に対し交付されます。平成 26 年度は、11 月の市議会議員選挙に伴い、平成 26 年 4 月 1 日～同年 12 月 4 日（1 人当たり 170,709 円）と平成 26 年 12 月 5 日～平成 27 年 3 月 31 日（1 人当たり 81,290 円）の 2 回に分けて交付があり、それぞれ差引不用額は舞鶴市に返還しました。

【各会派政務活動費 収支報告書一覧表（平成 26 年 12 月 5 日～平成 27 年 3 月 31 日分）】

（単位：円）

会派名	収入		支出					支出合計	差引不用額
	政務活動費	自己負担分	調査研究費	研修・会議費	広報・広聴費	資料作成・購入費	事務諸費		
創政クラブ議員団	650,320	12,566	0	0	0	49,014	613,872	662,886	0
主な支出の内容：コピー代、通信料、備品購入代など									
新政クラブ議員団	487,740	0	0	0	0	34,774	259,469	294,243	193,497
主な支出の内容：コピー代、通信料、備品購入代など									
公明党議員団	325,160	0	0	0	0	50	304,758	304,808	20,352
主な支出の内容：コピー代、通信料、備品購入代など									
日本共産党議員団	325,160	23,095	0	0	292,572	47,152	8,531	348,255	0
主な支出の内容：会派広報費（印刷、折込料）など									
輝進クラブ議員団	243,870	0	0	0	0	14,410	10,876	25,286	218,584
主な支出の内容：コピー代、通信料、備品購入代など									
鶴翔会議員団	243,870	0	0	0	0	7,840	9,855	17,695	226,175
主な支出の内容：コピー代、通信料、備品購入代など									

常任委員会の 審査報告

本会議において付託された議案は、予算決算委員会4件、経済消防委員会1件、民生環境委員会4件、総務文教委員会5件であり、それぞれの委員会で審査しました。

予算決算委員会

一般会計補正予算など 4件を可決および承認

平成27年度舞鶴市一般会計補正予算（第1号）では、質疑において、赤れんがパーク整備事業は、引揚記念館の整備が完了するまでの間、赤れんがパーク駐車場に仮設トイレを設置するもので、緊急時電力確保設備整備事業費は、加佐公民館に設置する太陽光パネルに約570万円、蓄電池関係に約1千万円などであるなどの答弁がありました。

討論において、ともに賛成の立場から、仮設トイレの設置は早急に行う必要があることや、観光客への「おもてなし」の心を伝えるものとして、トイレの常設などを検討すべきであるとの意見、また、災害に強いまちとなるためには、加佐地域の設備整備は必要であり

経済消防委員会

滞在型市民農園の一部 が短期利用可能に

舞鶴市農業公園条例の一部を改正する条例制定は、滞在型市民農園3区画に空きが生じており、新たな施設利用者が増えるまでの間、お試し利用や田舎暮らし体験で7日以内の期間を単位として利用できるようにするなどの説明を受けました。

質疑において、応募がない理由としては、都市部近郊に市民農園が増え、また、滞在型市民農園も増えているとの答弁がありました。

討論では、市内外に広くPRし、多くの方の利用により農業公園の設置目的が果たされるよう期待し賛成するとの意見がありました。

民生環境委員会

家庭的保育事業の保育

士に准看護師も算定

舞鶴市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定は、家庭的保育事業などに係る保育士の算定に当たり准看護師も保育士とみなすことができることとするものであるとの説明を受けました。

質疑において、保育士とみなす看護師の確保が難しいことから、准看護師に枠を広げたものであるなどの答弁がありました。

総務文教委員会

マイナンバー制度導入 に係る関係条例を可決

舞鶴市市税条例の一部を改正する条例制定は、地方税法の改正に伴い、マイナンバー制度の導入に向け、納税者が申請書に個人番号、法人番号を記載するものであるなどの説明を受けました。

質疑において、マイナンバー制度は、社会保障や税の給付と負担の公正化が図られるなど、国民の暮らしにさまざまなメリットをもたらすことが期待されており、28年1月から開始に向け市民の方に混乱を来すことがないよう準備を進めるなどの答弁がありました。

討論において、反対の立場から、多くの情報が集積されサイバー攻撃のリスクが高まることや、国が徴税を強化し、社会保障給付抑制へのチェック体制を強化するためと考えられることから、マイナンバー制度は認められないなどの意見がありました。

一方、賛成の立場から、マイナンバー制度は、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会を実現する社会基盤となるものであるとの意見がありました。

また、舞鶴市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定では、審議会の所掌事務に特定個人情報保護評価に関する事項を追加するものであるなどの説明を受けました。

討論において、反対・賛成の立場からともに市税条例の改正の場合と同様の意見がありました。

9月定例会予定

9月

- 2日(水) 本会議(開会)
- 8日(火) 請願受理締切
- 11日(金) 本会議(代表質問)
- 14日(月) 本会議(一般質問)
- 15日(火) 本会議(一般質問、質疑)
- 17日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 18日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 24日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 25日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会

10月

- 1日(木) 予算決算委員会
- 7日(水) 本会議(閉会)

※予定は変更することがあります。

表彰

去る6月17日、東京日比谷公会堂で開催の全国市議会議長会総会において、現職議員としては、次の議員が在職20年以上表彰を受賞しました。

○在職20年以上
和佐谷 寛 議員